

2024年5月8日

各位

上場会社名 **株式会社 日 伝**
代 表 者 代表取締役 社長執行役員 福家 利一
(コード番号 9902 東証プライム)
問合せ先責任者 取締役 常務執行役員管理本部長 寒川 睦志
(TEL 06-7637-7000)

第4次中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、このたび第4次中期経営計画『**New Dedication 2026**』～新たな貢献へ～を策定いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第4次中期経営計画の概要

当社グループが、「新たな事業領域の拡大」を目指し、2021年より取り組んでまいりました第3次中期経営計画『**New Dedication 2023**』～新たな貢献へ～の3年間が終了いたしました。

最終年度には経済活動も正常な状態に戻りましたが、当初の2年間はコロナ禍での事業活動となり、これまで経験したことのない課題に対処したことで、企業として危機管理や事業戦略について新たな知見を得て一回り大きく成長できたと実感しております。

近年、気候変動や労働人口減少などの環境・社会課題や、変化を続ける事業環境を前に、当社グループに求められる役割は大きく変化しております。

今回、新たに策定した第4次中期経営計画『**New Dedication 2026**』～新たな貢献へ～は、『つくる人・つかう人の想いを繋ぎ、誠実にモノづくりの未来に貢献する』ことを存在意義として設定し、これまでに創り上げてきた「提供価値」と磨き上げてきた「商社機能」にサステナビリティの視点も加え、継続的な成長と持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

(1) 計画期間

2024年4月1日から2027年3月31日までの3か年

(2) 経営基本方針

1. 将来にわたり「なくてはならない企業・日伝」を目指す
2. お取引先様とともに「モノづくりの仕組み・産業の基盤」を支える
3. 「挑戦すること」・「やりきること」に拘る企業風土をつくる

(3) 重点施策



PURPOSE ~ パーパス ~

「つくる人・つかう人の想いを繋ぎ、
誠実にモノづくりの未来に貢献する」



市場戦略

パートナーシップ
戦略

成長市場での
ビジネス拡大

社会・環境課題
ビジネスの取り組み

【パートナーシップ戦略】

パートナーシップの強化による市場攻略

～「戦略的協働」から「パートナーシップによる共創」へ～

【成長市場でのビジネス拡大】

成長市場において発揮する日伝力

～「機能×経験知」による日伝力の発揮～

【社会・環境課題ビジネスの取り組み】

社会・環境課題への商社ビジネスによるアプローチ

～顧客の現場理解による「ちょうどいい」の提示～



【サステナビリティ経営】

『企業価値』と『環境・社会価値』を両立させる経営の推進

【人財戦略】

人財を活かすことで実現する 業務効率とウェルビーイングの向上

【投資・財務戦略】

資本コストや株価を意識した経営

資本効率の向上

【業務改革・DX】

社内の業務改革から社外へのビジネス展開へ

【BCP】

販売先への供給責任を果たす

(4) 数値目標

	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
連結売上高	1,340億円	1,400億円	1,500億円
連結営業利益	61億円	58億円	66億円
連結経常利益	65億円	62億円	70億円
連結当期純利益	47億円	47億円	50億円

以 上